

## 各地区本部 拡大執行委員会報告

### 北海道地区本部

#### 第23回拡大執行委員会及び、3.3全道総決起集会

3月3日、札幌市内において、第23回拡大執行委員会を開催しました。はじめに、菊地委員長より安全の確立、2018春闘情勢報告、組織強化・拡大の取り組みについて挨拶され、続いて本部大杉委員長より、「貨物会社の経営状況と動向、2018春闘情勢と組織課題、JR東日本の動向等について報告され、北海道のすべての職場から組織拡大に向けて更なる努力をお願いし、しっかりと意思統一して組織拡大に取り組みたい」と挨拶されました。

その後、吉永書記長より第32回定期大会以降の経過報告及び協議について一括提案をし、質疑応答では「職場での安全の取り組みについて」「貨車が不足している。毎日、欠車しており異常事態である」「しっかりと組織拡大運動を継続すべき」「会社の不祥事が増えており、規律を求める」「新人事賃金制度はどうなるのか」「JR北海道の再建の為に、貨物会社の負担が増すのはおかしい。会社はどう考えているのか。また、関係省庁の対応は」「すべての系統で技術継承はしっかりと進んでいるのか。会社は認識しているのか」等の質問や意見に対し、中央本部・地区本部より説明や報



告、答弁をし、最後に2018春闘の当面する取り組みと具体的な行動を確認し拡大執行委員会を終了しました。また、第23回拡大執行委員会開催前にJR連合北海道地協主催で「安全の確立・2018春闘勝利・民主化闘争完遂」をスローガンに3.3全道総決起集会が開催されました。総決起集会は菊地委員長（副議長）の挨拶で始まり、決意表明では浦島副委員長が貨物会社の状況、春闘の取組み、安全の確立と組織拡大について報告し、集会宣言を吉永書記長（事務局次長）が提案し、全体の拍手で確認され、JR連合北海道地協の仲間と共に2018春闘を闘い抜く意思統一を図っていくこととしました。

### 関東地区本部

#### 代表者会議を開催



2月18日（日）本部事務所に於いて関東地区本部代表者会議（第31回関東地区本部委員会）を開催しました。

代表者会議は飯塚副委員長の開会挨拶で始まり、森泉委員長が座長に選出し2018春期生活闘争と、関東地区本部の今後の課題について考え方を述べ、議事が進められました。

その後、鈴木書記長より定期大会以降の経過と当面する活動方針（案）について提案され、質疑では多くの意見が出されました。代表者会議は深澤執行委員により委員会宣言が提案され、これを採択、関東地区本部は2018春期生活闘争を取り組む意思統一を行い、代表者会議を終了しました。

#### 関東交運労協2018年春闘勝利決起集会報告

2月20日（火）東京・田町交通ビルにおいて「関東交運労協2018年春闘勝利決起集会」が開催され、構成組織と都・県代表が参加しました。JR連合からも関東地方協議会の組合員が参加し、貨物鉄産労関東地区本部からも1名が参加しました。

集会は、反町副議長の開会挨拶で始まり、関東交運労協滝沢議長からは「安全・安心して利用できる交通機関を目指していく」「国会においても働き方改革の議論が始まった。世間の働き方の変化は、交通運輸労働者の労働条件に大きく影響する。交運労働者の賃金レベルは高くない。2018春闘において総力を挙げて賃上げを勝ち取ってほしい」と挨拶があり、中央交運労協住野議長からも激励の挨拶がありました。集会は、8産別から代表決意表明が行われ、JR連合からは関東地方協議会酒匂事務局長から春闘の状況報告と決意が述べられ、集会宣言を採択、滝沢議長の団結ガンバローを行い、集会を終えました。



#### JR連合関東地方協議会2018春期生活闘争勝利！総決起集会報告

2月27日（火）「JR連合関東地方協議会2018春期生活闘争勝利！総決起集会」が東京・田町交通ビルで行われ関東地区本部からも3名が参加しました。

集会は酒匂事務局長（JR東海ユニオン）の司会で始まり、杉本議長（JR東海ユニオン）から「JR連合春闘要求の基に関東地方協議会各単組とグループ労組は春期生活闘争を総がかりで取り組んで行こう」と挨拶がありました。来賓には連合東京吉岡副事務局長・労働局長と関東交運労協滝沢議長より激励と連帯の挨拶がありました。

その後JR連合政所企画部長より2018春期生活闘争をはじめとする課題について問題提起の講演を受けました。その後、各県協・単組の取り組みと決意表明が行われ、貨物鉄産労からも今春闘を取り組む決意を述べました。

集会は、阿部副議長（新幹線メンテナンス東海労組）により集会アピールが提起され、これを採択、杉本議長の「団結ガンバロー」を行い決起集会は成功裏に終了しました。



## 東海地区本部

### 第30回東海地区本部委員会を 開催

2月17日(土)、稲沢市内において、第30回地区本部委員会が開催されました。阿部執行委員の挨拶で始まり、資格審査報告後、和田執行委員を座長に選出し議事が進められました。地区本部を代表して榎委員長からは、貨物会社と私たちを取り巻く状況について報告すると共に今後の課題について考え方を述べました。つづいて、来賓として、尾内JR連合東海地協議長、菅沼交通共済本部長、辻村本部書記長より、ご挨拶を頂き、奥田副委員長より経過報告及び当面する活動方針、橋爪執行委員より協約・協定について提案され、質疑に入りました。



## 九州地区本部

### 九州代表者会議を開催

2月18日(日)、九州労組北九州支部会議室において、地区本部委員会が開催し、あいさつに立った田代委員長は、「千早操車場死亡事故を受け、各職場を回り今一度危険箇所がないか検証し、ダイヤ改正の団体交渉の中心に反映させていく。また、お見舞金カネパを取り組みたい。組織強化・拡大については、青年を中心に貨物連合として、1年を通じたレクリエーションを企画したい」と述べられました。続いて、来賓の中央本部辻村書記長からは、安全最優先の取り組み、春季生活闘争の取り組み、税制改正に向けた取り組み、組織強化・拡大の取り組みについて、中央委員会での報告等を含め、連帯のあいさつがありました。山崎副委員長によるベースアップのミニ学習会がある中、職場の問題点、レクリエーションのあり方、組織拡大の進め方など議論され、定期大会までの方針が採択されました。終了後は、場所を移動し親睦会を行いました。



### JR連合九州地協が春闘 勝利総決起集会を開催!

JR連合九州地方協議会は2月25日(日)、福岡市内において2018春季生活闘争勝利総決起集会を開催しました。

冒頭中原議長は、働き方改革関連法案をめぐる国会情勢に疑義を唱え、「今こそ働く者を軸とする安心社会の実現にむけて闘おう」と訴え、「今春闘において真摯な労使協議を通して『格差是正』『底上げ・底支え』に資する成果を勝ち取ろうと呼びかけました。

来賓には、九州地方交通労協から越智直樹事務局長、JR連合から北村公次労働政策部長が出席され、越智事務局長から連帯のあいさつを受けた後、北村労働政策部長から「春闘の目的と課題」「民主化闘争の完遂にむけて」の2点について基調講演を受けました。

基調講演では、日本を取り巻く経済・雇用情勢をはじめ、JR連合の取り組み2018春闘方針の説明を受けたほか、JR東労組(JR総連)の「スト権闘争」など実態について報告を受けました。

各単組からの決意表明では、貨物鉄産労から福岡支部の赤松支部長が行いました。赤松氏は、千早操で起きた仲間の触車死亡事故に触れ、5項目に渡り九州支社に緊急申し入れを行ったことを報告、未だ国交省安全委員会も原因解明なされていない中、一度とこの様な事故を発生させないように対策する事を強く求めていきました。2018春闘では賃金引き上げ要求については純ベア3,000円、期末手当4.5ヶ月以上、55才以上の賃金ダウ

ン改善等要求、また諸要求については22項目あげ福利厚生含め要求しています。運動展開ではグループ会社の組織拡大に向けて、貨物連合として行動を強化します。貨物会社は昨年度初めて鉄道部門黒字化を成し遂げましたが、儲けた分は社員に還元させるためにも、今春闘は組合員が一致団結し運動を強化し、皆様と共に闘っていく事を誓い決意表明とさせていただきます。と言う力強い決意表明をいただきました。



【九州地区本部大分支部  
報告】  
日出生台集会1.27に参加  
する!

陸上自衛隊日出生台演習場で、2月5日から始まる在沖繩米軍の実弾砲撃訓練の前に、連合九州ブロック連絡会と連合大分は、1月、27日玖珠町の玖珠川河川敷で日出生台集会を開催しました。

九州各県などの加盟労組など、沖縄を含めた全国から4,885人(主催者発表)が参加、同連絡会の西村芳樹代表幹事、連合本部逢見直人会長代行が「午後8時以降の砲撃や米軍による地元説明会の不開催など、また沖縄でのヘリコプターに関連する事故などもあり、不安を誘発する課題が多く起きている、日出生台の問題は日本全体の問題として捉えなければならぬ」とあいさつを行いました。

その後集會宣言を採択、最後に連合大分の佐藤寛人会長の発声で団結ガンパローを三唱しました。数日前からの積雪の影響もあり開催も心配されましたが、当日は日差しもあり無事に集會を終了しました。JR連合大分県協議会の仲間と共に貨物鉄産労大分支部からは水流園と羽木が参加しました。

